津久井浜沖の本船航路を行く海上保安庁の 艦船。近辺はタチウオの好釣り場である





法蔵院総門の鬼瓦。厄除けのために飾ら れたもので、地方によりそれぞれ独特の



津久井浜より三浦半島 中央部の高台に至る。 周囲には広大な農地が 広がっていた……

風がどう見ても似つかない物もれる百花繚乱の作品郡にも、作



されている。

その活躍も安土桃

伝えられている出身

法藏院務門の龍には、時代の利之 対岸の展刊に渡るという伝説がはる。

取材協力(50音順) ●サンヨーナイロン http://www.sanyo-nylon.co.jp/ ●スズキ (株) http://www.suzuki.co.jp/ ●ダイワ http://daiwa.globeride.co.jp/ ●日本ペイントマリン (株) http://www.nippe- m arine.co.jp/index.ht m I

龍伝説探訪の末、三浦半島にて名匠、左甚五郎の 作品に出会えるとは意外な結果だった

> **沿躍したとされる、** こされるのが、

もっとも、

津久井浜沖のリアル龍(ドラゴン) いえば、タチウオである...●

左眼に、首打ち、

と呼ばれる五

それを封じる策として龍の

い釘が打たれていると伝えられ

この伝説の龍を彫っ

江戸時代初期

の夜になると対岸の房州 施されているが、この龍は時化 されている総門には龍の彫刻が

(千葉

2015.9「つり丸」マガジン・マガジン社に 法蔵院の記事が掲載されました。 山門まつわる話、伽藍は左甚五郎作であ る、なぜか「見ざる、聞かざる言わざる」の

> を持った仏寺のひとつで、 分ほどの所に位置する、

い、古往今来の古刹や名所名跡 もともと三浦半島は歴史の スローに探訪するのも メジャ 地味だがディ な津久井浜近辺 なものばか

名称は、本誌読者の良く知る ころである。 青物が竿を絞ってく である。 こちらの

京高急行久里深線

今来の龍伝説

連載

三猿の墓石も取り上げられています

る、金田沖、

オンボロ船を数年がかりでレストアし、沖釣りを堪能している1964年生まれのイラストレーター。釣りビジョン、「トラウトキング」の 変な司会者としても著名。サンヨーナイロン・フィールドテスター。「新日本疑似餌紀行(廣済堂出版)」他、釣りの著書多数。 http://www014.upp.so-net.ne.jp/ichiro\_web/

プロフィール うぬまいちろう